

前期課程

いろいろな事を知った 野外活動

五年B組 成田 莉々

私は、野外活動でウォークラリーや砂時計を体験して、色々な事を知りました。

まず、ウォークラリーでは、協力することの大切さを知りました。少し迷ったり、マムシ注意という看板にこわがったり、地図がよめなかったりしました。だけど、はんのみんなが地図をよんでくれたり、「大丈夫。」とはげましてくれたりしました。おたがいの苦手なところを助け合っている姿を見て、協力の大切さを知りました。

砂時計作りでは、初めてのことにこわがらずにやってみることに大切さを知ったり、地球環境について学んだりしました。砂時計作りでは、グルーガンという物を使いました。グルーガンという名前を聞いただけでこわそうだから使ったことはありませんでした。野外活動で初挑戦してみたら思っていたよりも、楽しかったので、

こわがらずにやってみなければいけないなと思いました。また、砂時計につける貝がらを探していると、ガラスの破片がたくさん置いてあったので、環境汚染も進んでいるのだなと思いました。一方で、自然の美しさも感じました。砂時計を耳にあててみたら、「サラサラサラ・・・」というきれいな音が聞こえて、おだやかな気持ちになりました。他にも、砂時計に付けた貝がらも、同じ種類の物でも一つ一つ、模様がちがって、選ぶのが楽しかったです。

私はこの野外活動に行つて、意識が変わりました。困った時は、苦手なところを助け合つて、協力しようと思いました。何でもこわがらずにやってみようと思いました。物も大事にしようと思うようになった。これを生かしていきたいです。



奈良修学旅行

六年B組 長谷川 快

僕は修学旅行が日帰りになったと聞いて、少し残念な気持ちになりました。しかし、コロナだから仕方がないと思いました。

当日バスに乗り込むととても楽しみな気持ちになりました。バスに乗っている時間は長くて、腰が痛くなりました。

まず東大寺に行きました。大仏殿は調べ学習で写真を見ていたのので、だいたいの大きさは、予想できていましたが、自分のよりも何倍も大きかったです。中に入つて大仏を見ました。昔の人がこんな大きな物を造れる技術があったことに、改めてびっくりしました。次に正倉院に行きましたが、閉まっていて入れなくてがっかりしました。

そして、班別行動になりました。鹿せんべいをもらいました。鹿せんべいを持っていると、本当に鹿が寄ってきたので驚きました。みんなでチェックポイントを目指しました。鐘楼と三月堂のポイントの先生はすぐ見つかりましたが、二月堂の中山先生が全然見つから

なくて、とてもあせりました。そのせいで、集合時刻のぎりぎりに白銀屋に着きました。おいしいカレーを食べて、法隆寺へ出発しました。

法隆寺では、五重塔の造り方に驚きました。それは、下から上に向かってどんどん細くなっているからです。なぜそんな造りになっているかという、地震に耐えるためだそうです。ここでも、昔の人は、知恵があつたんだなと、思いました。

修学旅行では、クラスや班の友達と仲良く行動して、いろいろなことを知ったり、楽しかったりしたので、集団の一員としての意識を高め、今よりさらに協力できるようにになりたいと思いました。





後期課程

九年A組 高橋 沙良

ずっと楽しみにしていた修学旅行の行き先が変更となりました。日帰りの修学旅行でしたが、それでも最高の楽しい思い出となりました。コロナ対策を徹底して私たちを送り出してくれた両親、行き先を考え検討していただいた先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。この修学旅行は9年間の中で最高の行事の一つとなりました。



九年B組 児玉 安司

今年の修学旅行はコロナウィルスの感染拡大に伴い、行き先が二転三転するという異例な事態となりました。しかし、皆さんの切り替えの早さと、8年間で培ってきた抜群なチームワークで、乗り越えることができました。当日も充実した分散学習をすることができました。

私たちにはまだ入試という大きな壁があります。余韻にひたるのも良いのですが、入試は待つてはくれません。次は私たちの将来のために頑張りましょう。

九年B組 岡村 優真

東京、静岡方面の修学旅行には、何を持っていったらよいのか、僕は真剣に考えました。最終的には旅行先が郡上八幡になり、考えていたことが無駄になってしまいました。郡上八幡で良かったです。旅行期間も三日間の予定が一日になってしまいました。楽しみは三分の一ではなくて、三倍になったと思います。「ここはどこかなあ」って迷うことも、「おいしい」って感謝することも、この機会でないとは体験できないことでした。

